

令和7年度事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日)

令和7年度は1期2年の初年度として、新たな委員会の立ち上げや支部活動を更に充実させることで活気に満ちあふれた部会を運営することができました。

まず会員増強・交流事業委員会は、7月に中島で「家族例会・海のつどい」を行い、スプラッシュビーチやバーベキューなどで部会員ならびにそのご家族と親睦を深めました。10月の新規入部会者の集いではボウリング大会を行なった後、総勢50名以上で表彰を兼ねた大懇親会を開き、大いに盛り上がりました。部会員数につきましてはここ数年、団塊世代のご卒業と重なる時期でもあり人数の確保に苦心はしておりますが、引き続き300名近い数を維持しています。

租税教育委員会では「租税教室」と併せ、本年度も「夢きらきらプログラム」と「模擬選挙」を取り入れ、働くことの大切さや各職種の魅力、選挙の楽しさを教えることができました。授業を開催したのは松山市立和気小学校、生石小学校、味酒小学校の3校で、児童や関係者にとって有意義な時間となりました。特に生石小学校では初の試みとしてLIVE映像を用いたハイブリッド式授業を行い、今後の新たな授業スタイルとしてよい実績を作ることができました。

また今期の新たな取り組みとして、健康経営・公益事業推進委員会を立ち上げ、健康経営を会員全体に働きかけるとともに公益性を持たせた事業を行なうことによって、従来の公益事業推進委員会の要素も兼ねた委員会として活動しました。9月には協会けんぽを講師に招き、「はじめての健康経営」と題した健康経営セミナーを行いました。また10月には支部対抗でのウォーキングラリーを実施し、より多く歩くことで健康維持に努めました。

渉外活動としては10月に「松山青年3団体交流事業(JC・YEG・法人会青年部会)」を開催しました。松山青少年センターにて、各団体から計70名以上が参加してバブルサッカー大会を行ない、その後の懇親会では団体の垣根を越えて交流を深めました。

9月の県大会(八幡浜大会)や11月の全国青年の集い(山梨大会)では本年度も松山から大勢が参加し、県内ならびに全国の仲間たちと今後に向けての情報交換を行うことができました。

また支部例会では、各支部がそれぞれ特色のある例会を開催しました。第2支部の浴衣例会、第3支部の愛媛マンダリンパイレーツ応援例会、第9支部のいもたき例会、また小規模の支部が複数集まって行なう合同支部例会など、法人会青年部でしか体験することができない事業を絡めての例会を行いました。さらに4月のお花見例会では参加者80名以上、忘年例会や新年例会では共に100名近くの部会員が参加し、支部内外で交流を深めました。

そして、新たなメンバーの入会など優秀な人材は確実に増えて成長を続けております。なおかつ彼らが、法人会理念である「税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体」を忠実に実行するため、様々な研鑽を積みながら互いを高めあっております。しかし我々中小企業を取り巻く環境は、物価高騰や人手不足・賃上げ問題など、課題が山積しており、さらには世界に目を向けると欧州や中東で様々な紛争がおこり、未来の予測がつかず決して楽観的でいられないのも事実です。ですがこんな時だからこそ、この松山を活気ある街にしていけるよう、同世代の仲間が助け合い、手を取り合いながら発展していける団体にしていきたいと思っております。松山法人会青年部会は、全国屈指の組織力があり、伸び伸びと豊かに活躍できる最善の会だと確信しています。今後とも当会へのご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。